

建設業の魅力を「かたち」に

全国建設業協同組合連合会会長 青柳 剛

建設業を取り巻く課題は「働き方改革の推進」「生産性向上への取り組み」「災害時の緊急対応強化」の3点に集約されます。働き方改革関連法令への対応、CCUSの活用、建設業労働者の賃金引

き上げなど、今後とも官民連携で継続した取り組みが必要です。建設現場では建設DXが推進されており、地方の建設企業への普及・導入の契機と捉え、積極的かつ継続的に取り組んでいきます。

また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の3年目分として国費が追加され、地域の守り手としての役割を発揮し続けるこ

とが重要になっています。

このような状況の下、当連合会では本年度、CCUS普及促進事業を開始し、カードリーダーの貸し出しや事業者・技能者登録の支援に取り組んできました。「建設業で働く女性のためのユニフォームデザインプロジェクト」も開催し、2月22日には最優秀作品などのデモンストレーションを行います。新3Kに「カッコいい」を加えた建設業の魅力、身近なところから「かたち」にしていく動きが広まっていくことを望みます。





建設業を取り巻く課題は、「働き方改革の推進」、「生産性向上への取り組み」及び「災害時の緊急対応強化」の3点に集約されます。建設現場では、生産性向上を目的とする建設DXが推進され、地方の建設企業への普及・導入の契機ととらえ、積極的かつ継続的に取り組む所存です。

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の3年目分として、激

甚化する風水害や切迫する大規模地震などの対策などに国費が追加され、地域の守り手として建設業の役割を発揮し続けることが重要となっております。

このような状況の下、当

経営に役立つ取り組み推進

全国建設業協同組合連合会

会長 青柳 剛

連合会は建設キャリアアップシステム(CCUS)促進普及事業を開始し、カードリーダーの貸し出しや事業者・技能者登録の支援に取り組んでまいりました。また「建設業で働く女性

さらに、建設業の将来を見据え、一昨年に続き、昨年11月、当連合会としての新たな取り組みと提言・要望を発表いたしました。

協同組合ならではのスケールメリットを活かした共同購買事業、福利厚生事業、総合補償制度、教育情報事業などの事業を着実に実施するとともに、DX、働き方改革関連法令、CCUSなど建設企業経営に役立つ取り組みを積極的に行います。今後も会員及び所属企業との連携を深めていくため、意見交換会なども積極的に進めてまいりますのでご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。